

春闘アンケートから見えてくるもの

西日本NTT関連労働組合書記長

池内 康宏

23春闘に向けたアンケートを実施

現在、西日本NTT関連労働組合（以下、西N関労）では、23春闘に向けて職場アンケートを取り組んでいます。

西N関労が本格的に春闘に取り組み始めたのは07春闘からです。その時から職場アンケートを取り組み、仲間の声を元に春闘を闘ってきました。当初は、関西地区中心に取り組んでいましたが、NTTグループ合理化の関係で高知のみの取り組みとなっています。

アンケートのこれまでと今

私が西N関労に加盟して10数年になります。その間、職場の仲間（NTT労組）にアンケートをお願いしてきました。「お前の頼みやったら書いてやる」「こんなもの書いてどうにかなる?」「もう退職するから関係な

い」等、色々反応はありました。

また、数年に一度くらい職場再編があり、今まで協力してくれた人が退職したり、職場が無くなったりもしています。

アンケートはかつて200枚以上集まったこともあり、ます。これは、2012年に評価制度反対闘争で西N関労に加盟した田植さんが、フットワークを活かして高知市内の局舎に出かけて取ってくれた成果でした。

今は、私が勤務する局舎だけの取り組みです。これは他の職場でもそうでしょうが、セキュリティが強化され勤務職場以外に簡単に入れなくなった事が原因です。

アンケートの過去3年間の経過

アンケート結果では（資料参照）、少し短いスパンですが（23年は途中経過）、過去3年の経過を見ると賃上げ要求では3万円から5万円が一番多い回答になってい

◆特集 春闘は、労働者のものだ！

賃上げ要求	21年	22年	23年
3万円未満	8	5	10
3万円～5万円	18	23	23
5万円以上	4	4	3
未回答/0円	6	4	0
合計	36	36	36
生活実態	21年	22年	23年
大変苦しい	1	1	4
苦しい	11	16	11
余裕は無いが困ることは無い	21	18	21
余裕がある	1	1	
合計	34	36	36
切り詰めているもの	21年	22年	23年
衣食	13	14	11
娯楽や旅行等の自粛	17	24	26
貯金や保険料等の減額	10	12	12
教育費の切り詰め	1	2	1
小遣いの減額	12	11	11
何もしていない	4	8	6
合計	57	71	67
不足分の補填は	21年	22年	23年
残業手当	1	5	4
配偶者も働いている	9	11	14
預貯金（退職金）の切り崩し	7	7	9
両親や親類からの援助	4	2	1
金融機関からの借入	1	4	1
何もしていない	12	12	12
その他	1	1	
合計	35	42	41

過去3年間のアンケート集計結果

今の世相から見れば当たり前前と言えます。

私の職場の現状

私の働いている会社は、NTT西日本子会社のフィールドテクノ社です。子会社の利益は親会社が吸い上げています。その結果、親会社は21年度決算で1100億円の赤字で

ます。また、未回答/0円は、23年では0になっています。これは22年からインフレが強まった結果だと思います。

生活実態は「余裕は無いが困ることは無い」が過半数を占めています。その為に切り詰めているものの項目では、「衣食」「娯楽や旅行等の自粛」「貯金や保険料等の減額」「小遣いの減額」が上位を占めています。

不足分の補填は、「何もしていない」「預貯金（退職金）の切り崩し」が多く、「配偶者も働いている」は、

す。

アンケート結果で、「余裕は無いが困ることは無い」と答えた方も、色々と我慢しています。23春闘も、職場アンケートを元にストライキを構えて、大幅賃上げを要求していきます。

(いけうち やすひろ)



◆特集 春闘は、労働者のものだ！